

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成28年1月●日

協議会名:	武豊町地域公共交通会議
-------	-------------

評価対象事業名:	生活交通確保維持改善計画に基づく事業(フィーダー系統)
----------	-----------------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>地域公共交通網形成計画で示した交通システムの狙いは、二つの鉄軌道を「広域幹線系統」として捉え、中心市街地の名鉄知多武豊駅を中心に、町内の主要施設と市街化区域をカバーするループ型のコミュニティバス路線を「地域内幹線系統」としてネットワークを構築している。また、コミュニティバス・鉄軌道の利用促進と市街化調整区域等をカバーするため、事前予約制・区域運行の乗合タクシーを地域内幹線系統に接続させる形で平成23年9月より構築した。</p> <p>こうした段階的にネットワークを構築することで、交通空白地の解消とお年寄り等住民が安全に暮らせ、気軽に移動できる生活の足を確保することを目指している。</p> <p>これより、地域公共交通網形成計画をふまえ、武豊町地域公共交通会議が事業主体として試行運行している、コミュニティバスを「地域内フィーダー系統」として本格運行させた。</p> <p>なお、地域公共交通総合連携計画から地域公共交通網形成計画への転換に併せて、コミュニティバス・乗合タクシーのネットワークを平成27年10月に変更している。これにより、コミュニティバスが隣接する半田市への乗り入れを行うこととなり、「地域間幹線系統」で走行する赤ルートと従来の「地域内フィーダー系統」の青ルートの2路線で運行している。また、乗合タクシーは、廃止されるバス路線を補完するために9路線から11路線へと増加させた。</p>
-----------------------------	--